

玄輝門住宅 A 地域連携推進会議 議事録

日時 令和 8 年 6 月 24 日 (水) 午後 1 時 30 分より開催
場所 障害福祉サービス事業 玄輝門住宅 A 榦 1 号棟 2 階 談話室

出席委員 成田 俊介 (玄輝門住宅 A 世話人・サービス管理責任者)、
齋藤 智恵子 (保護者)、
齋藤 絵梨 (利用者)、
館山 良子 (地域関係者)、
安田 美由紀 (極光の会 監事・経営 知見者)、
成田 忍 (極光の会 理事・福祉 知見者)、
齋藤 みなみ (藤崎町役場福祉課職員 市町村関係者)、

以上 7 名

案件 1 状況報告 今年度活動計画 について
2 施設内巡回 榦 1 号棟 (1階居住棟・2階避難棟)
農耕班倉庫 (感染者 濃厚接触者 管理室)
3 要望、助言の聴取

開会のあいさつ

成田 俊介 あいさつを行なう。
玄輝門住宅 A 地域連携会議規程により、議長は地域連携推進員のうちの法人関係者である私、成田俊介務めますのでお願いします。

案件 1

成田 俊介 案件 1 状況報告 今年度活動計画 について説明する。
今までの説明でわからないところがあればご質問ください。
一同 ありません。

案件 2

成田 俊介 案件 2 施設内巡回 (1階居住棟・2階避難棟、農耕班倉庫 (感染者 濃厚接触者 管理室)) について説明する。
これから、施設内巡回を行います。
施設内巡回を参加者全員で視察し、玄輝門住宅 A 榦 1 号棟に戻り終了した。

案件 3

成田 俊介

案件 3 玄輝門住宅 A についての要望、助言があればお願いします。

安田 美由紀

重度化・高齢化が進む中で、夜間支援や医療的ケアに対応できる体制を強化していく必要があります。また、深刻な人材不足が続く現場において、安定した支援を継続するための職員の処遇改善も進めなければなりません。以上を踏まえて利用者一人ひとりの特性や希望、生活歴を丁寧に踏まえた個別支援計画は、今後どのように作成し、どのように実行していますか。

成田 俊介

重度化・高齢化が進む中で、夜間支援や医療的ケアに対応できる体制を強化する必要があること、また深刻な人材不足の状況下で安定した支援を継続するために職員の処遇改善を進める必要があることを踏まえ、当事業所では利用者一人ひとりの特性や希望、生活歴を丁寧に反映した個別支援計画の作成と実行に取り組んでいます。

まず、利用者の生活歴や特性、日々の変化を把握するために、定期的な面談や日常記録の積み重ねを重視し、本人・家族・相談支援専門員・医療機関など多方面から情報を収集しています。そのうえで、夜間の不安や健康状態、医療的ケアの必要性を計画に反映し、緊急時の対応方法や医療機関との連携体制を明確にしています。また、人材不足の中でも計画に基づく支援を確実に実行できるよう、支援内容の標準化や職員間の情報共有の仕組みを整え、誰が担当しても一定の質を保てる体制づくりを進めています。職員の負担軽減や働きやすい環境整備にも取り組み、安定した支援体制を維持することで、個別支援計画の実効性を高めています。

これらの取り組みにより、利用者一人ひとりの希望や生活の質を尊重しながら、安全で継続可能な支援を提供できるよう努めています。

安田 美由紀

ありがとうございます。

成田 俊介

他に質問はございませんか。

一同

ありません。

成田 俊介

案件に関しては終了しましたが他に質問はございませんか。

一同

ありません。

成田 俊介

ご質問がなければこれで終了します。

閉会のあいさつ

成田 俊介

あいさつをする。

これにて閉会します。本日はありがとうございました。

以上で議案審議は終了。午後 2 時 30 分閉会。